

サンヨール乳剤と殺虫剤との混用事例集

2022年3月7日改正

薬剤名	剤型	IRACコード	いちご						カーネーション
			章姫	宝交早生	さちのか	はるのか	とよのか	女峰	
アーデント	水	3A	●	●	●●●●				●
アクタラ	顆	4A				●			●
アクテリック	乳	1B					●		
アグロスリン	水	3A			●		●●●		●●●
アタプロン	乳	15	●	●	●				●
アディオン	乳	3A			●		●●		●
アドマイヤー	水	4A				●●	●		
アドマイヤー	フ	4A							●
アニキ	乳	6	●		●				
アファーム	乳	6	●	●	●●●●●●	●●●●●●	●●●●	△	●●●
アプロード	水	16			●		●●●		
アルバリン	顆	4A					●		●
ウララ	DF	29	●		●			●	
オルトラン	水	1B							●●
オレート	液	-			●				●
カスケード	乳	15	●		●		●		●
カネマイト	フ	20B				●			●●●
コテツ	フ	13	●	●	●●●●●●		●●●●●●		●
コロマイト	水	6	●		●●		●●		●
サイアノックス	乳	1B			●		●●		●●
サイハロン	水	3A			●		●●		
サンマイト	フ	21A			●				●●●
スピノエース	顆	5	●	●	●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●	●	●●●
スプラサイド	乳	1B							●●●
スミチオン	乳	1B	●●		●●×	●●●●●●	△	●●●●●●	●●●●●●
ダイアジノン	乳	1B			●●	●●	●●		●●
ダニサラバ	フ	25A					●●		
ダニトロン	フ	21A			●				●
ダントツ	溶	4A			●		●●●●		
チエス	顆	9B	●		●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●	●	
テデオン	乳	-	●		●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●		
テルスター	水	3A						●●●	
デルフィン	顆	11A						●●●	
トアローCT	水	11	●		●				
トアローCT	フ	11	●●	●	●●●●●●●●●●●●				
トリガード	液	17					●●●●●●		
トランスフォーム	フ	4C			●●●●●●		●●●●●●	●●●●●●	
トレボン	乳	3A			●●●●●●		●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●
ニッソラン	水	10A	●●		●●●●●●		●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●
ノーモルト	乳	15	●●		●●●●●●		●●●●●●		
ハクサップ	水	3A				●●●●●●			
パダンSG	溶	14						●●●●●●	
ハチハチ	乳	21A			●●●●●●		●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●
バロック	フ	10B	●●	●	●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●
ピラニカEW	乳	21A	●●		●●●●●●		●●●●●●		●●●●●●
フェニックス	顆	28					●●●●●●		
プレバソン	フ	28			●●●●●●		●●●●●●		
ベストガード	溶	4A			●●●●●●		●●●●●●		
ペンタック	水	-			●●●●●●		●●●●●●		
マイトコーネ	フ	20D	●●		●●●●●●		●●●●●●		
マッチ	乳	15	●●		●●●●●●		●●●●●●		
マトリック	フ	18	●●				●●●●●●		
マブリック	水	3A	●●		●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●		
マラソン	乳	1B	●●●		●●●●●●●●●●●●	△	●●●●●●●●●●●●		
モスピラン	溶	4A	●●●		●●●●●●●●●●●●		●●●●●●●●●●●●		
ランネット	DF	1A		●×		●●●●●●●●●●●●		●●●●●●●●●●●●	
ロディー	乳	3A			△	●●●●●●●●●●●●			
ロムダン	フ	18	●●		●●●●●●●●●●●●		●●●●●●●●●●●●		

略記号

- 【液】: 液剤 【乳】: 乳剤
- 【水】: 水和剤 【顆】: 顆粒水和剤
- 【フ】: フロアブル剤 【溶】: 水溶剤
- 【●】: 急性的な薬害が生じない
- 【△】: 物理性、効果低下又は、軽度な薬害が生じたが生育に影響なし
- 【×】: 薬害を生じ混用不適

本混用事例におけるサンヨール乳剤の使用濃度は、なすは700倍 ばらは1000倍 その他の作物においては500倍。混用した殺虫剤、殺菌剤は各作物での使用濃度とする。

混用時の注意事項

1. 本混用事例集は、ご使用者様が混用する際の目安となるように、弊社の知見から作成したものです。混用事例をご紹介するもので、混用をおすすめするものではありません。
2. 地域ごとの知見がある場合、そちらを優先してください。
3. 品種・生育ステージ・気候・栽培条件などによって薬害の発生条件が変わるのでありますので、他剤と混用する場合、散布対象の作物および花き類に小規模に散布して薬害の有無を確認の上、混用使用することをお勧めします。
4. 表中の薬剤については、登録内容が変更される場合もありますので、農薬の使用前にラベルで適用内容の確認を行なってください。
5. 本剤は水に希釈する場合、他の乳剤と異なる分散をするのでよくかき混ぜてからご使用下さい。

お問合せ先

米澤化学株式会社
本社 京都府京都市南区唐橋芦辺町14番地

TEL : 075-681-9536
FAX : 075-681-7377
H P : <http://www.yonezawa-chemical.co.jp/>

サンヨール乳剤と殺菌剤との混用事例集

薬剤名	剤型	FRACコード	いちご							略記号										
			章姫	宝交早生	さちのか	はるのか	とよのか	女峰	柄乙女	きゅうり	にがうり	メロン	かぼちゃ	なす	トマト	ピーマン	すいか	さやえんどう	ばら	きく
アフェット	フ	7														●				
アミスター	フ	11														●				
アリエッティ	水	33								●	●	●								
アントラコール	顆	M3					●													
オーソサイド	水	M4		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
カスミン ボルドー	水	24								●										
カッパーシン	水	24								●						●	●			
カリグリーン	溶	NC	●				●													
キノンドー	水	M1								●	●	●								
ゲッター	水	10	●		●	●									●					
ケンジャ	フ	7													●					
サプロール	乳	3	●	●			●	●	●	●	●	●	●	△	●	●	●	●	●	
ジーフайн	水	M1	●				●			●					●					
ジマンダイセン	水	M3		●			●			●	●	●	●	●	●	●				
ジャストミート	顆	12	●				●													
スコア	顆	3						●						●						
ストロビー	フ	11	●				●			●								●		
スミブレンド	水	2								●										
スミレックス	水	2		●			●		●	●				●	●	●				
セイビア-20	フ	12	●				●			●				●						
ダユニール 1000	フ	M5								●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
トップジンM	水	1					×			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
トリフミン	水	3	●	●			●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ファンタジスタ	顆	11						●						●						
フェスティバル M	水	40								●										
フルピカ	フ	9	●				●			●		●								
ベルクート	水	M7					●			●										
ベンレート	水	1								●			●	●			●			
ボトキラー	水	BM2						●							●					
ポリオキシン AL	水	19		●		●	●		●	●	●	●	●	●	●					
モレスタン	水	M10		●		●	●		●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	
ルビゲン	水	3	●	●			●		●	●	●	●	●	●	●			●		
ロプラール	水	2	●	●			●		●	●	●	●	●	●	●	●				

【液】:液剤 【乳】:乳剤 【水】:水和剤
 【顆】:顆粒水和剤 【フ】:フロアブル剤
 【溶】:水溶剤

【●】:急性的な薬害が生じない

【△】:物理性、効果低下又は、軽度な薬害が
生じたが生育に影響なし

【×】:薬害を生じ混用不適

本混用事例におけるサンヨール乳剤の使用濃度は、なすは700倍 ばらは1000倍 その他の作物においては500倍。混用した殺虫剤、殺菌剤は各作物での使用濃度とする。

混用時の注意事項

1. 本混用事例集は、ご使用者様が混用する際の目安となるように、弊社の知見から作成したものです。混用事例をご紹介するもので、混用をおすすめするものではありません。
2. 地域ごとの知見がある場合、そちらを優先してください。
3. 品種・生育ステージ・気候・栽培条件などによって薬害の発生条件が変わること可能性がありますので、他剤と混用使用する場合、散布対象の作物および花き類に小規模に散布して薬害の有無を確認の上、混用使用することをお勧めします。
4. 表中の薬剤については、登録内容が変更される場合もありますので、農薬の使用前にラベルで適用内容の確認を行なってください。
5. 本剤は水に希釈する場合、他の乳剤と異なる分散をするのでよくかき混ぜてからご使用下さい。

お問合せ先

米澤化学株式会社

本社 京都府京都市南区唐橋芦辺町14番地

TEL : 075-681-9536

FAX : 075-681-7377

H P : <http://www.yonezawa-chemical.co.jp/>